

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月25日(~)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	1	0	14

前回の改善計画

事前情報を把握したうえで、ご利用者とかかわり、新たに得た情報を共有できるようミーティングで報告し、申し送りファイル、個別記録にも記載する。
フェイスシートやアセスメントシートと同様に、ケアプランも把握できるように検討する。
一人一人が活用する意識を高める。

前回の改善計画に対する取組結果

事前情報は、申し送りファイルで回覧することで共有、把握ができた。ケアプランについてはケアマネファイルに綴じてあり、把握につながる検討が出来ていない。また、ケアプランに対する意識が低い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	3	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援が出来ていますか?	0	14	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	13	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係作りのために配慮をしていますか?	0	12	2	0	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事前情報は、申し送りファイルで回覧することで共有、把握ができた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

事前情報を基に、前もっての話し合いや、意見、疑問点等についての話し合いができていない。また、話し合いを行っても、記録が不十分でその内容の共有と把握ができていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事前情報を基に、ご利用者やご家族の思いを共有し、初期支援のカンファレンス内容を記録に残し回覧する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	14	0	0	14

前回の改善計画

ご利用者とかかわる時間がしっかり持てるよう、委員会や行事相談は決められた時間に行う。
気になることはミーティング等で意見として発信する。記録にも残していく。
ご利用者にできなくても話しながら作業するなど、ご利用者へのかかわり方を模索していく。
「～したい」という気持ちを聞き取れるように関わりを深めていく。

前回の改善計画に対する取組結果

業務内での時間をうまく活用し委員会や行事などの話し合いができた。職員格差もあるが、関わり方を工夫して一緒に過ごすこともできたが、ご利用者との関わりが疎かになる場面も見られる。「～したい」の目標についての意識が低く、把握や聞き取りはできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	9	5	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	12	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	0	12	2	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に生かしていますか?	0	14	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご利用者との関わりは以前より多く持てるようになり、職員間での情報共有も出来た。その中で、ご利用者の気持ちに添う事柄にも、繋がられたケースもある。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

ケアプランがケアマネファイルに綴じてあり、安易に手に取り確認できる状況になかった。また、ケアプランに対する意識の低さもある。ご利用者によっては「この方は難しい」と思い込み、引き出す努力、や工夫、発信が足りていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

目標「～したい」の重要性を研修にて再認識し、各ご利用者の目標把握向上が図れる仕組みをつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

3. 日常生活の支援

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	2	0	14

前回の改善計画
ご利用者一人一人の変化をしっかりと記録し発信する。 ご利用者の状態変化に対応した後の振り返りを行い、次の支援につなげ、状態の経過観察は継続して行う。 ケアプランや居宅介護計画を把握し、ご利用者の思いに沿った支援を行う。
前回の改善計画に対する取組結果
ケアプラン、介護計画に関する把握の意識が低い。また、記録が電子化になったことで、記録を振りかえる習慣や意識も低くなった。日々のご利用者の変化については発信、共有できているが、その内容を記録として残せているかが課題。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	3	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	12	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで語源化できていますか?	0	12	2	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11	2	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	1	11	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者の変化に目を配り、投げかけ・共有・話し合いを行うなど、相談しながら支援に当たれている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	関わりを持つ中で以前の暮らしを知ることはできているが、更に踏み込んで把握する取り組みはできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	各利用者の担当職員を決め、ファイルから以前の暮らしに関わる内容を抜き出し、掲示板に貼り付ける(2か月更新)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	2	4	14

前回の改善計画

誰がどのような会議に出席しているかや、その経過や方向性などミーティングで報告し、全職員が地域の活動を把握し、理解したうえで地域行事などへ参加し関係づくりをする。
民生委員や地域資源など把握できるよう提示し、ご利用者の暮らしに生かせるようにする。

前回の改善計画に対する取組結果

会議への出席はできたが、内容報告ができておらず参加者だけの知識にしかならなかった。また、地域の方から連絡を頂いた行事には参加したが、関係性を深めるには至っていない。「民生委員がどの方なのか、地域資源とは何か」の提示もできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	11	1	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	5	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	7	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ケアマネを中心に家族との関係は充実している。日々の関わりや、職員間での会話から、ご利用者について知れたり、知る努力・伝える努力ができている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

ケアマネや管理者以外の職員は、家族・地域との関わりが少なく十分ではない。地域資源についても同様。また、それに対する職員の意識も低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域支援についてや地域資源とは何かの研修を実施し、地域支援の理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	2	0	14

前回の改善計画

申し送りと個別記録への記載を抜けがないよう行う。
関係機関、法人内でも情報交換をし、ご利用者の生活を幅広くサポートしていく。

前回の改善計画に対する取組結果

申し送り記載は、しっかりと出来ているが、個人記録記載は十分ではない。タブレット方式のため、不慣れな職員は入力に時間を要す。また、入力の有無を手書き記録よりも確認しづらいなどが原因の一つと考えられる。施設内での情報交換がケアマネ・管理者止まりで、介護職員まで情報が下りず、共有・幅広い支援まで行き届きにくかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10	3	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が本当に適切に提供されていますか?	1	13	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか?	2	12	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	12	0	0	14

できている点 200字程度で、できていること、その理由を記入すること

各ご利用者やご家族の都合や体調などに合わせ、柔軟なサービス提供ができた。日々のご利用者の様子についてもミーティングで共有し、その時々に合わせて支援に繋がっている。

できていない点 200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

地域資源がどのようなものなのか・何があるのか等の範囲から理解が出来ていない。また、必要ではと感じるケースの活用についても、職員間の考え方の違いから進まないケースもあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

小規模多機能に求められる地域支援についての研修を実施する。また、知り得た情報を全職員で共有できるよう報告・申し送りをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

6. 連携・協働

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	2	3	14

前回の改善計画
地域行事への参加だけでなく、やまぶき側からの働きかけで何か取り組めるよう検討する。 これまでから継続している地域との関係を職員へ提示し周知する。
前回の改善計画に対する取組結果
地域行事への参加も少なく、やまぶきから地域に投げかけて取り組む事は出来ていない。地域との関係を提示・周知も出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	9	2	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	8	3	1	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	10	1	1	14
④	登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6	5	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域イベントへの参加や、小学校との交流は持てた。地域会議等についても必要な範囲は参加できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス機関や地域の会議には、担当する職員が参加はしているが、報告等が十分できているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス機関・地域会議に参加した職員は、ミーティングや全体会議にて報告する。地域との繋がりでは世間の状況(感染状況等)を把握し継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

7. 運営

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	4	0	14

前回の改善計画
同法人内の職員とも意見交換しながら学ぶ機会を設ける。 事業所の在り方や仕事への向き合い方を意識し、主体性をもって前向きに取り組む。 振り返りシートを活用しながら職員一人一人の意識を高める。
前回の改善計画に対する取組結果
法人内での学ぶ機会を設けられていない。振り返りシートの活用も出来ていないが、今まで行ってきた事で、意識が出来るようになってきている点もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員としての意見を言うことができているですか?	1	9	3	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	2	0	14
④	地域に必要とされる拠点である為に、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	感じた事は意見・話し合いを行う事で、他の考え方を知ることができ偏りのない学びになっている。利用者・家族からの意見や苦情が発生した場合は、早急に話し合い、同じことを繰り返さないように努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	事業所の在り方について意見できていない。地域からの意見や苦情を聞く機会がない。積極的に共同した取り組みは行えていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者、ご家族、運営推進会議等での意見や声を真摯に受け止め、サービスの質向上につなげる。また、地域、家族広報を配布しやまぶきをPRする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

8. 質を向上するための取組

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	3	0	14

前回の改善計画

施設内研修はテーマの概要だけを説明するのではなく、チームにとって必要な知識をピックアップし現場で活かせるよう取り組む。
外部研修参加後は報告を行い、チームへ知識や情報を還元する。

前回の改善計画に対する取組結果

施設内研修では研修内容を活かし、改善に繋がられたケースがあり「活かせる」研修になった。外部研修は、研修報告がなくチーム全体への知識・還元は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	0	12	2	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	0	8	5	1	14
③	地域連絡会議に参加していますか?	0	11	2	1	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	0	13	1	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内研修から、再度知識を高められている。また苦情や事故の分析を行い、未然に防ぐように話し合いを行えている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

ヒヤリハット報告意識が薄れてきている。話し合いをしても、認識の違いからか他人事で意識が低く感じる事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ヒヤリハット報告書を見直し、ミーティングや全体会議で共有と再確認を行う。外部研修・地域連携会議に参加した際は、ミーティングや全体会議で報告し共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 25 日 (~)

9. 人権・プライバシー

メンバー 藤山・西村・渡邊・小幡・大槻・堀田・河田・尾松・大槻・西田・片岡・上田・四方・戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	13	0	0	14

前回の改善計画
プライバシーや人権が守れるよう職員同士で注意し合える環境を整える。 振り返りシートを活用し、意識し業務にあたる。 研修などを行い啓発に取り組む。
前回の改善計画に対する取組結果
今年度に入り「振り返りシート」の活用はしていないが、各自が今までの振り返りを活かせるようになり会議やミーティングで意見や注意などが行えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	10	0	0	14
②	虐待は行われていない	7	7	0	0	14
③	プライバシーが守られている	2	12	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	11	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	研修を繰り返し行う事で職員それぞれが、振り返りや意識に繋がられている(スピーチロックなど)

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	基本的には出来ていても、大きな声でトイレの呼びかけを行ったりスピーチロックなど、細かなプライバシーが守られていないこともある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の研修の実施と、自己チェック表を「法人、チームの一員として」「身体拘束と虐待」「個人情報、プライバシー」「利用者対応」作成し、毎月実施し啓発をする。